

第100回全国高校サッカー選手権県大会



見ている人を魅了するサッカー、「向陵スタイル」貫き

- ▲前半、先制点を決めた吉田光汰君(3年・根城中学校出身)に駆け寄る部員たち。
- ▶怪我で出場できない坂上海斗君(3年・三戸中学校出身)のユニフォーム(背番号3)を持って撮影に臨むイレブン。撮影はマネージャーの石藤風紗さん(3年・根城中学校出身)



生を大きいスタジアムに連れて行く」と試合前に皆で話しました。前半1点リードしましたが、前半ラストに失点し、後半はなかなか決められず、1対4で負けてしまいました。選手権は、ベスト8という結果に終わりましたが、最後まで向陵サッカーの魅了するプレーをやめず戦い抜きました。3年生たちが期待に答えられなかった分、1、2年生にはもっと強くなってほしいし、上を目指してほしいです。後輩たち、3年生の皆、一緒に戦ってくれてありがとう。これまで苦しいこともありましたが、3年間向陵高校でサッカーができて幸せでした。山本監督、田嶋先生、先生方、保護者の皆さん、今まで応援して下さい、ありがとうございました。



自分たちの最後の選手権の目標はベスト4でした。一次予選から「チーム一つにまらなって戦おう」という声を掛け一丸となって戦ってきました。一次予選を突破し、二次予選では東奥学園、東奥義塾に勝利しベスト8まで進出しました。次戦の相手は弘前中央でした。「この試合に勝って監督、田嶋先生を大きいスタジアムに連れて行く」と試合前に皆で話しました。前半1点リードしましたが、前半ラストに失点し、後半はなかなか決められず、1対4で負けてしまいました。選手権は、ベスト8という結果に終わりましたが、最後まで向陵サッカーの魅了するプレーをやめず戦い抜きました。3年生たちが期待に答えられなかった分、1、2年生にはもっと強くなってほしいし、上を目指してほしいです。後輩たち、3年生の皆、一緒に戦ってくれてありがとう。これまで苦しいこともありましたが、3年間向陵高校でサッカーができて幸せでした。山本監督、田嶋先生、先生方、保護者の皆さん、今まで応援して下さい、ありがとうございました。

《選手権大会・部活動を振り返って》

部長 3年 佐藤 大輝(三戸中学校出身)

向陵 1 (1 1) 4 弘中央
 〇 3

【試合結果】準々決勝

10月22日(金)、第100回全国高校サッカー選手権青森県大会準々決勝が十和田市高森山総合運動公園で行われた。対戦相手は弘前中央高校。1、2年生が主体だが、実力のあるチームだ。勝てばベスト4進出が決まる大一番に、部長の佐藤大輝君はじめ3年生は気合十分。試合開始早々、先制点を挙げた本校が流れをつかんだかに見えたが、得点チャンスを生かすきれず前半終了間際に同点に追いつかれた。後半は、守備が乱れ3失点。今大会の目標であるベスト4には届かなかったが、最後まで自分たちのサッカーを諦めなかった部員たちには胸を張ってほしい。見ている人を魅了する向陵サッカーは、まだ進化の途中なのだから。



▲サッカー部保護者からいただいた応援フラッグ



私が向陵高校サッカー部に入部したときは、自身の実力もなくあまりサッカーで有名な高校ではありませんでした。しかし、山本先生を始め同じ志を持つ仲間と数々の辛いことを乗り越えてベスト8という新しい歴史を残すことができ良かったです。私たちの本来の目標はベスト4でしたが、一歩届かず達成することはできませんでしたが、このベスト4という目標を次は後輩たちに託したいと思います。

3年 石和 葉大(東中学校出身)

立ち上がり先制点を取ることができて試合の入りはとも良かったのですが、前半終了間際に同点に追いつかれてしまいました。後半に入って、一進一退の攻防が続いていたなかで相手に逆転を許してしまいました。私たちは点を取りに行かなければならなくなつたので、焦りがあつたと思います。その隙を突かれ立て続けに失点、1対4で負けてしまいました。目標としていたベスト4には、あと一歩届きませんでした。3年間応援ありがとうございました。



今年の選手権は、ベスト4を目標にして頑張ってきました。選手権一次予選を突破し、選手権二次予選に進むことができました。一回戦、二回戦と厳しい戦いでしたが、チーム全員で戦うことができ、県ベスト8になることができました。そして、ベスト4をかけて弘前中央と試合をしました。前半の立ち上がり先制点を取ることができて試合の入りはとも良かったのですが、前半終了間際に同点に追いつかれてしまいました。後半に入って、一進一退の攻防が続いていたなかで相手に逆転を許してしまいました。私たちは点を取りに行かなければならなくなつたので、焦りがあつたと思います。その隙を突かれ立て続けに失点、1対4で負けてしまいました。目標としていたベスト4には、あと一歩届きませんでした。3年間応援ありがとうございました。

副部長 3年 和田 大勢(江陽中学校出身)

今年度の選手権は、ベスト4を目標にして頑張ってきました。選手権一次予選を突破し、選手権二次予選に進むことができました。一回戦、二回戦と厳しい戦いでしたが、チーム全員で戦うことができ、県ベスト8になることができました。そして、ベスト4をかけて弘前中央と試合をしました。前半の立ち上がり先制点を取ることができて試合の入りはとも良かったのですが、前半終了間際に同点に追いつかれてしまいました。後半に入って、一進一退の攻防が続いていたなかで相手に逆転を許してしまいました。私たちは点を取りに行かなければならなくなつたので、焦りがあつたと思います。その隙を突かれ立て続けに失点、1対4で負けてしまいました。目標としていたベスト4には、あと一歩届きませんでした。3年間応援ありがとうございました。



副部長 3年 佐々木琉惟(三戸中学校出身)

選手権ベスト4という目標には届かず、ベスト8で終わってしまいました。一試合目、二試合目は順調に勝ち進み、ベスト4をかけた弘前中央と対戦しました。先制するも4失点し、1対4で敗れました。私自身何度もチャンスがあったものの決めきれませんでした。そこで決めていければチームの雰囲気、流れも良くなり勝てる試合だったと思います。準決勝、カクヒロスタジアムで青森山田と戦いたかったです。しかし、それは叶わず悔しい結果に終わりました。後輩たちにはこの悔しさをバネに、これからも頑張ってもらいたいです。私たちの行けなかったベスト4に行ってもらいたいです。

3年 川畑 努斗(北稜中学校出身)



向陵サッカー部の選手権の目標であったベスト4には届くことができませんでした。しかし、私自身、3年間向陵サッカー部でやってきて良かったと思います。それは、サッカーの技術向上はもちろんのこと、心身ともに成長することができたからです。また、毎日がサッカー漬けの日々でしたが、仲間がいたからこそ3年間楽しくサッカーができたと思います。1、2年生は、自分たち3年生が届かなかったベスト4という目標に向かって頑張ってください。

3年 坂上 海斗(三戸中学校出身)



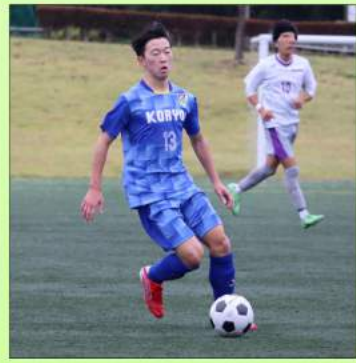
高校生活最後の大会となった選手権では、怪我をして一次予選までしか出られませんでした。しかし、ドリブルやパスで相手を崩して点を取るという自分がやりたかったサッカーを3年間でできたので良かったです。苦しいことも皆乗り越えてきた3年間、たくさんの力が身についたと思います。そして、ベスト8という向陵の歴史を創ったことをとても嬉しく思います。けれども、自分たちの目標であったベスト4まで行けなかったため、1、2年生には来年、高総体、選手権とその目標に挑戦してほしいです。

3年 坂本 航大(名川中学校出身)



一次予選、二次予選の一、二回戦ともに自分たちの攻撃的なサッカーをして勝ちました。三回戦の弘前中央戦は、先制しましたが相手に逆転され負けました。目標はベスト4でしたが、結果ベスト8でした。目標の一步手前で敗れてしまい悔しいです。3年間、苦しいことを全員で乗り越えてきました。入学当初、試合に全く勝てず不安でしたが、先輩たちの力を借り、たくさんの人たちの応援のおかげでここまで来ることができました。向陵サッカーに関わるすべての人に感謝します。

3年 吉田 光汰(根城中学校出身)



選手権ベスト4という目標にあと一步足りず、ベスト8という結果で終わりました。向陵でのサッカー生活振り返って私たち3年生は間違いなく成長できていると選手権を通して実感しました。また、向陵高校のサッカー部に入ってきた皆さんのことを学びました。特に忍耐力や人間性が鍛えられました。

した。この努力を無駄にしないで将来にしっかり生かしていきたいと思います。本当にこのチーム、この仲間がサッカーができて良かったです。応援してくださった方々に感謝したいです。

3年 石藤 風紗(根城中学校出身)

目標としていたベスト4には届かなかったけれど、ベスト8という向陵の新しい歴史を創ることができました。それは、どんなに苦しい練習でも3年生が中心となり、乗り越えてきたからこそこの結果だと思っています。3年間、サッカー部で活動し私自身学んだことがいくつもあります。皆の諦めない姿勢、仲間を想う気持ちを一番近くで見ると、マネージャーとして頑張らなければいけないと何度も感じました。頼りなかったとは思いますが、向陵サッカー部のマネージャーができて良かったです。

最後まで自分たちのサッカーをやりきってくれた選手たち、敗れはしたが胸を張ってほしい

サッカー部顧問(監督) 山本 真也

今年のチームは立ち上げ当初から県内ベスト4に入るという目標掲げて活動してきた。今の3年生が入学した頃のチームを考えればベスト4なんて夢のまた夢のような目標だったが、3年生の3年間の取り組みと、1、2年生の新戦力の加入により、手の届く目標に変わった。3年生には常々、ベスト4が目標であるなら、基準を上げろと伝えてきた。サッカー面でも生活面でも目標にふさわしい取り組みをすれば、必ず叶うと言い聞かせてきた。そんな中迎えた最後の大会、選手権はベスト8まで勝ち進み、ベスト4をかけた試合で敗れた。向陵高校サッカー部史上初のベスト8という新たな歴史を創ってくれたが、目標には届かなかった。高い目標を設定し、それに向かい努力を続け、あと一步のところまで近づいた3年生には「よく頑張った、ここまで連れてきてくれてありがとう」と伝えたい。そして、3年生にはこれからの人生の目標を定め、それに向かって努力を続けてほしいと思う。

皆さんの感動ありがとう サッカー部顧問 田嶋 善博

現3年生は縁あって1年生の半年と、2、3年生の2年間グランドで過ごした。昔私が指導していたころとは違い、技術が高い生徒たちだと思っていた。監督の指導の下、学年が上がるにつれ着実に進歩したと思う。2年生の時は、ゲーム内容では優っていても最後は負けた試合が多かった。伝統校の厚い壁に跳ね返された1年であった。また、県高校総体での青森山田戦、0対30というスコアが選手のやる気を駆り立てたのではないかと。その時の悔しさが3年生での技術や精神面の成長に繋がったように思う。3年生では、県高校総体やユースリーグで伝統校や実力校にも一步も引けを取らず結果を残してくれた。最後の試合になった選手権では、一、二回戦接戦をものに、ベスト4をかけた試合では最後まで向陵らしい「魅了する」サッカーで保護者や観衆を沸かせてくれた。高校サッカーはこれで終わることになるが人生はこれから。サッカーで学んだことを生かしてほしい。サッカー界にはこのような諺がある。「サッカーは子供を大人にする。大人をジェントルマンにする」皆さんの感動ありがとう。

○10月15日(金)一回戦 向陵 3-1 東奥学園
 (得点) 3年 佐々木琉惟(三戸中学校出身) 1
 3年 佐藤 大輝(三戸中学校出身) 2



○10月16日(土)二回戦 向陵 2-1 東奥義塾
 (得点) 1年 細越 朝陽(第一中学校出身) 2



私は、選手権大会に全試合スタメンで出場させてもらいました。しかし、得点を取ることができていなかったため東奥義塾という伝統校から絶対点を挙げ、勝ってベスト8で向陵の歴史を変えたいという強い気持ちがありました。そして3年生のサポートのもとセットプレーから2得点決めることができました。点を取った瞬間、とても嬉しかったし皆と一緒に喜んでくれてチームにしっかり貢献できたと思います。弘前中央戦ではチャンスを作ったり、チャンスをもらったりしましたが得点に結びつかず敗北してしまいました。目標であるベスト4まであと一步届かず悔しい思いをしたので、次の新チームでは、3年生の思いも背負ってベストを尽くします。

